



皆様には、日頃からご支援を賜り、ありがたく感謝しています。3.11の東日本大震災からすでに2年が経過していますが、原発震災は何も解決されていません。原発54基のうち52基が未だに稼働されていない中、電気不足による影響が出ているのでしょうか。アベノミクス経済政策により、円安が進み、株価が上がっていますが、果たして暮らしを豊かにするのでしょうか。被災者の方が「津波は私たちの過去を奪ったけれど、原発は私たちの未来を奪ってしまった」と語ったその言葉が私の脳裏から離れません。「子どもたちの未来のため」にどんな日本を残すのか、私たちが果たすべき役割が今こそ問われている時代はないでしょう。

鉄道高架は財政的負担・地震による地盤問題・景観的圧迫と世代に大きな重荷を背負わせることになると思います。市民にとってこの「まち」の将来がどこにあるのか、客観的事実を訴え続けます。そして「住んで良かった」と思える「まちづくり」を皆様と一緒に目指していきたいと思います。

\*\*\*\*\*

★★ 沼津市の課題 ★★

- 1・人口減少に歯止めがかからず、人口転出の多さでは全国市町のベスト7位
- 2・高度成長期に建設した「ハコモノ・インフラ整備・プラント」その一斉更新時期が迫る
- 3・新キラメッセ・鉄道高架などハコモノに依存するまちづくりの限界
- 4・どういう「まちづくり」を目指すのかビジョンが見えない
- 5・鉄道高架の積立 300億円は土地取得に使い現金残高 9億円。事業費 800億円の 1/4 負担どう捻出するのか

\*\*\*\*\*

★★★ 25年度予算・3月議会の代表質問 ★★★

\*\*\*\*\*

Q 過去6年間で最も低い予算編成だが、減額した理由は何か。

「市長：全体的に大変な状況ではない。問題はないと理解している」

Q 下水道普及率（56%）は県平均を大きく下回るが、整備が完了するまでにどのくらいか。

「市長：期間は26年間、事業費は690億円で普及率は94%になる」

Q 鉄道高架を進めることが市民生活にどう影響するのか、具体的なリスクを示すべきではないか。

「市長：鉄道高架をやっても、市民税や住民税が増税にはならない」

-----  
私の質問と市長答弁は最後まで噛み合わず ???

税金は法定税率があるので、自治体独自の税率はないのが基本。だから増税したくても出来ないというわけ。増税の代わりに、水道料金値上げや来年度からは下水道料金の値上げも始まる予定。

今後、人口減少や高齢化によって、市税の増収が見込めない中、下水道の借金は既に440億円もあり、下水道整備の見直しもないという。社会の構造自体が大きく変化しているなか、これからの財政運営は、今までのハコモノを如何に整理・縮小し、リスクを最小限に回避できるのか、トップの判断次第で住民のリスクに繋がる。

\*\*\*\*\*

★★★★ これからも川勝静岡県知事の政治手腕に期待！ ★★★★★

\*\*\*\*\*

高架事業については、沼津市は県事業と言い具体的な議論を避けています。川勝県知事はその沼津市の姿勢に、県主催のPI委員会で市民参加の議論を展開しています。何とか川勝県知事のもとでこの事業の透明性を実現し、本来の開かれたオープンな議論に向かうことを切に願い、県知事の政治姿勢に期待をします。